

1) 歴史遺産

古代 塩竈古道

中世 鹽竈神社 御釜社

近世 勝面楼 煙波亭 貞山堀 寒風沢港 肴の道・芭蕉の道

近代 亀井邸 丹六園 大正期の伝統的町屋建築群

*まずはサイン整備から 地元の再認識 外来者へのアピール

*評価の高まりをまって施設の整備へ

2) 文化遺産

古代 歌枕

中世 能「融」 一遍聖絵

近世 奥塩地名集 塩竈村風土記 塩竈町方書上

塩釜にまつわる紀行文学絵画作品群 塩竈甚句

若宮丸漂流民

近代 塩竈にまつわる文学作品群 佐藤鬼房

白石廣造とラッコ船

*多様な刊行物（パンフ、書籍、ビデオ含む）の製作

3) 港町らしさとは

① 日本の港町

○横浜 大棧橋・横浜三塔・赤レンガ倉庫・中華街・帆船「日本丸」・太平洋航路客船「氷川丸」

○神戸 旧居留地・北野異人館街 ○函館 赤レンガ倉庫群・青函連絡船「摩周丸」

○小樽 小樽運河と倉庫群 ○長崎 山手の洋風建築群・出島復元 ○尾道（坂道と路地）

○門司下関（跳ね橋・洋風建築群） ○鞆の浦 中世以来の町並み

② 埠頭と棧橋

・中世 舟戸・江尻・甫出浜（御釜社）

・近世 大河岸と新河岸（浦霞・丹六園・シェヌー）

・近代 海岸通り 築港（壺番館・ヤミ市・まぐろ屋 ～塩竈倉庫）

・現代 マリンゲート前 魚市場界限

③ 船

塩竈らしい船とは

塩竈茶船・千石船（江戸時代） ラッコ船（明治期） 独航船（昭和期）

御座船「鳳凰丸」「龍鳳丸」

4) 歴史遺産・文化遺産の活かし方

大きな金をかけなくてもできるものも多い

ただし学術的な裏付け（研究・学習）が必要 文化財ねつ造問題の教訓

■設立の経緯

「NPOみなとしほがま」は、^{しほがま}塩竈の海、みなとに関する歴史・文化の普及を行うために平成15年に設立された組織です。これまで資料収集や学習研究を通して、塩竈の魅力^{しほがま}を再発見し、それをまちづくりに活かすため努力しております。

■活動内容

○海商の館・再生プロジェクト

総合商社「カメイ」（仙台）創業の地である塩竈市に残る亀井家の邸宅を保存活用しようと、当NPOでは、「海商の館・再生プロジェクト」を始動しました。国の都市再生モデル調査にも選定され、邸宅を市内の歴史や文化を伝える拠点として整備しようと考えています。1924年に建築された建物は、塩竈神社裏坂沿いの高台にあり、敷地面積1,600㎡、和洋併置式住宅として、港町の繁栄を象徴するものですが、5年ほど前から空家で、老朽化のため、取り壊しの話もありました。地元建設業者等の協力のもと、会場整備が進み、様々なイベントが計画されています。



貴重な和洋併置式住宅である亀井邸

○京都と塩竈の縁を深める

京都市下京区塩竈町、本塩竈町。『源氏物語』の主人公・光源氏のモデルとも言われる源融が、大邸宅を営んだ場所が、千百年の時を超えた今も古都の地名として残っています。本塩竈町にある塩竈山上徳寺塩竈義弘ご住職を本市にお招きしての講演会や、会員による京都への旅など、新しい交流も始まっています。



好評だった亀井邸での講演会

○初めて世界一周した日本人の顕彰碑を建立

ちょうど200年前、本市出身の津太夫らが日本人初の世界一周をし、無事帰還。その見聞録『環海異聞』は鎖

国時代の海外情報として極めて貴重な史料であり、その後の海外政策に大きな影響を与えたといわれています。これまであまり語られることのなかったこうした史実に光を当て、その偉業を紹介するため、今年11月に出身地寒風沢に顕彰碑を建立しました。リーフレットボックスも付け、観光振興にも一役買っています。



除幕式には多くの市民が

○NPO活動の原点・古文書部会

毎週火曜日、市内寺院に10名程度の会員が集まります。3年目に入りましたが、東北学院大学の斎藤善之教授のご指導のもと、212年前の地元の代表的な古文書を題材に、江戸時代の塩竈の姿を学んでいます。

この勉強を通じて、市内には多くの史跡が残っていることを知り、また、これまで見過ごしてきたそれぞれの文物が実に雄弁に塩竈の昔の姿を語りかけてくるという、驚きの体験がありました。この感動を多くの方にお伝えすべく、町歩きガイドも始めました。



275年前の石碑が語る往時の塩竈をガイド

■今後の展開

16年には塩竈の港湾の歴史を写真で表現した「写真しほがまみなと昔話し」を出版しました。また史跡ガイドのリーフレットも4種類となりました。現在は、『奥塩地名集』を多くの市民の皆様にご紹介すべく、江戸時代の古地図、古絵図を活用したビジュアルな本作りを行っています。また江戸時代の寺院建築物の保存活用にも取り組んでいます。京都と塩竈の繋がりもさらに深めていく予定です。「塩竈とはどんな町なのか、どんな歴史をもった町なのか…。地域に眠っている資源を掘り起こし、磨き上げ、売り出していく。そして多様な人々の交流の場を作っていく」ことこそ、私たちの役割と考えています。一つ一つ成果を積み上げていく喜びを肌で感じながら、これからも多くの方々のご協力をいただき、和気あいあいと活動していきたいと考えております。